

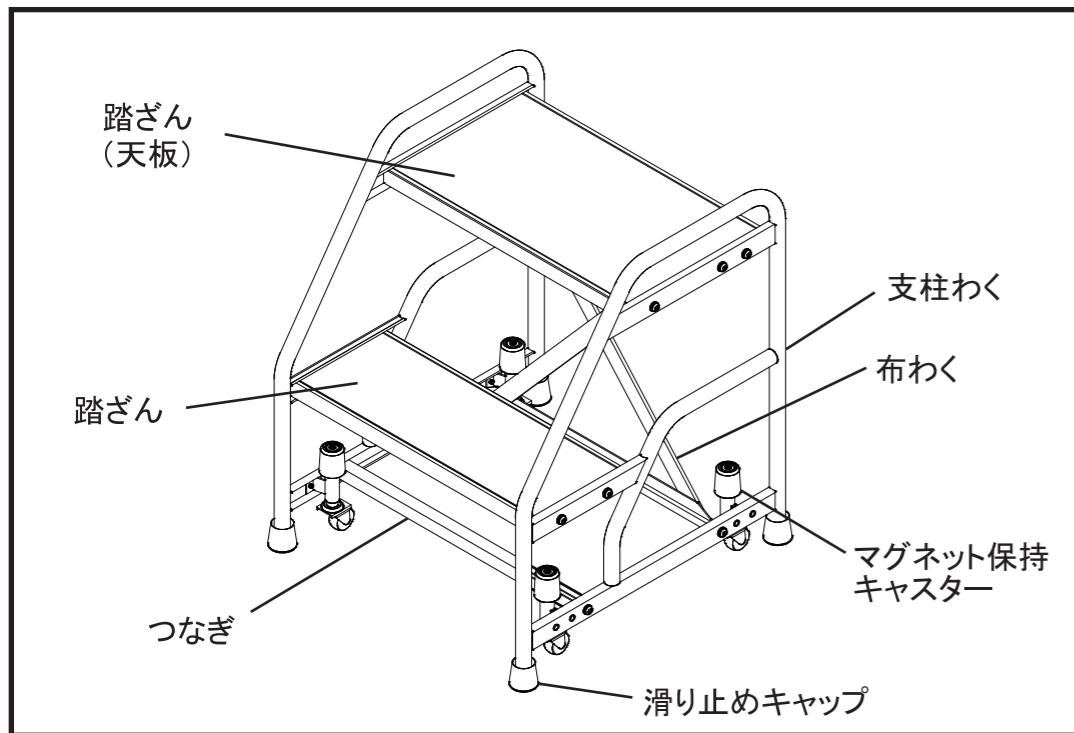


アルミ製移動式踏み台

取扱説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐ取り出せる所へ大切に保存してください。

- 踏台は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、踏台の安定した状態を確認してください。
- この取扱説明書に書かれた使い方以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。



表示マークについて

取扱説明書に記載されている△マーク付きの説明は、安全上特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

△危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

△警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

△注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。

※ 破損したまま使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因となります。

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

＜絵表示について＞
警告表示の要点が一目で理解できるように、取扱説明書の中で絵表示を使用しています。絵表示には、下記の意味があります。

感電注意
持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると、感電して危険であることを注意しています。

天板の上で爪先立ちすること禁止
天板の上で爪先立ちすると、身体のバランスをくずして、転倒する危険があることを注意しています。

安全作業のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

警告 この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。

体重と荷物の合計重量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。また、荷物はバランスが保てる程度の重さにしてください。

警告 踏台としての用途以外の使い方をしないでください。

この製品は、高い所で作業するための足場として作られた「踏台」です。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

警告 踏台を加工や改造しないでください。

注意 作業に適した服装で使ってください。

注意 貼り付けてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

必ず、ご購入の販売店から新しいラベルを取り寄せ、もとの位置に貼り、内容を理解してから使ってください。

注意 身体がバランスの保てない状態のときは、使わないでください。

身体がバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。

注意 取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

取扱説明書・警告ラベルには安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。

注意 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うよう指導してください。

2. ご使用になる前に

警告 使う前には、必ず「ご使用前の点検」を行い、異常のないことを確認してください。

警告 変形した踏台を使わないでください。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れ曲がったりして、重大な事故の原因になります。

3. 運ぶときは

注意 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やヘコミ・破損の原因になります。

4. 移動するとき

注意 踏台を移動させるときは、天板の上に物が無いことを確認して移動させてください。

5. 設置する場所について

危険 設置するときや持ち運びするときは、配電線に注意してください。

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる恐れがあります。

警告 踏台が安定する場所に、設置してください。

平坦で安定した場所、滑りにくい地面や床、また踏台が埋もれないような場所を選んで設置してください。踏台が安定しない場所だと、転倒や転落の恐れがあります。

注意 人の出入り口やドアの前には、設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、踏台が倒されて転倒や転落の恐れがあります。

注意 雨の中や風の強い場所には設置しないでください。

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

注意 足元や周囲がはっきり見えない場所には設置しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気づかないことが原因で、転倒やケガの恐れがあります。

6. 設置するとき

警告 踏台を高くするために、踏台にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動などして、転倒や転落の恐れがあります。

7. 昇り降りや作業するとき

危険 天板中央に両足でしっかり立って作業してください。

天板の端に立ったり爪先立ちや片足で立つ、踏台から身体を乗り出したり、天板上で移動などすると、バランスをくずして転倒や転落の恐れがあります。

警告 作業中、踏台の上で壁や物を無理に押ししたり、引いたりしないでください。

無理に押ししたり、引いたりすると、反動で踏台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

危険 二つの踏台の間に板をかけて、足場などに使わないでください。

踏ざんなどが破損したり、踏台が不安定になって転倒や転落の恐れがあります。

警告 同時に二人以上乗らないでください。

踏台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

警告 踏台を背にして、昇り降りしないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

警告 踏台は静かに昇り降りし、踏台の途中から、飛び降りたりしないでください。

傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使った静かに降りてください。

警告 滑り止めキャップが確実に地面に着いていることを確認して作業してください。

踏台が浮いたままの状態だと、踏台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

8. その他

警告 心臓ペースメーカー等の体内植込型医療用電子機器を装着している方は、キャスト一部に近づかないでください。

キャスト一部には、強力な磁石を使用していますので、機器の故障等につながる恐れがあります。

注意 鉄製の尖った物など、危険なものが落ちていない場所で使用してください。

キャスト一部には、強力な磁石を使用していますので、危険な物が落ちてると、引き寄せてしまい、ケガの恐れがあります。

注意 キャスター一部には、携帯電話・アナログ時計・磁気カード・磁気テープなどの磁気記録媒体に近づけないでください。

キャスト一部には、強力な磁石を使用していますので、近づけてしまうと機器の破損や記録内容が破壊されてしまう恐れがあります。

注意 80℃以下の環境で使用してください。

キャスト一部には、強力な磁石を使用しています。磁石の特性上80℃以上の環境になりますと、磁力が弱まり踏台が浮き上がらなくなります。

ご使用前の点検

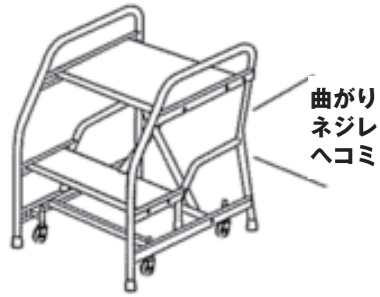
踏台をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1目で見て、下記の点検をしてください。

- ① 天板や踏ざんにグリース・油・泥・雪水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合は、きれいに拭き取ってください。



- ② 支柱わくに曲がりやネジレ・ヘコミがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。必ず購入の販売店までご相談いただき、新しい支柱わくと交換してください。



- ③ 踏ざんに曲がりやネジレ・ヘコミがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。必ず購入の販売店までご相談いただき、新しい踏ざんと交換してください。



- ④ 布わくに曲がりやネジレ・ヘコミがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。必ず購入の販売店までご相談いただき、新しい布わくと交換してください。

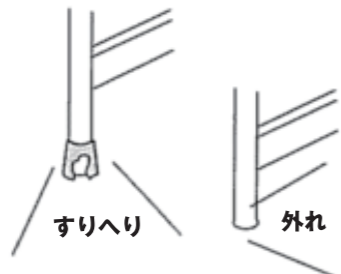


- ⑤ 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

- ⑥ リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

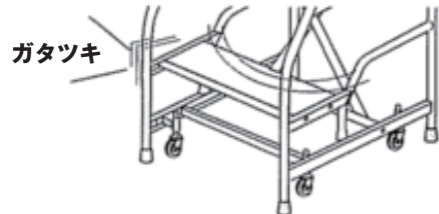


- ⑦ 支柱の滑り止めキャップがすり減ったり、外れたりしていませんか。すり減ったり、外れたりしている場合は、絶対に使わないでください。必ずご購入の販売店までご相談いただき、新しい滑り止めキャップと交換してください。



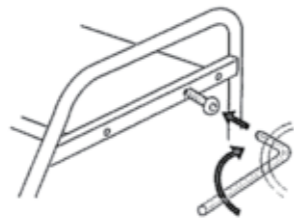
2. 下記の箇所を触って点検をしてください。

- ① 踏ざんをねじってみて、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



3 ボルト類は、ゆるんでいないか定期的に点検してください。

- ① 定期的にゆるんでいないか点検し、ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。



踏台の使い方

1. 設置場所について

- 平坦で安定した場所、滑りにくい地面や床、また踏台が埋もれない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- 踏台の周囲に危険なものがなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 設置後は、踏台にガタツキがないか確認し、ある場合は踏台の位置を移動してガタツキを取り除いてください。

2. 踏台の昇り方・降り方・作業の仕方・移動の仕方

設置の仕方 ※図 1 参照

設置（固定）する際は踏み台を踏み込むとキャスター部分が音をたてて固定されます。すると設置状態になり、自由に昇り降りが可能となります。

設置解除、移動の仕方 ※図 2 参照

移動時には支柱枠を浮かせることで、固定状態が解除されます。4箇所のすべり止めキャップが浮いていることが確認できたら、移動してください。

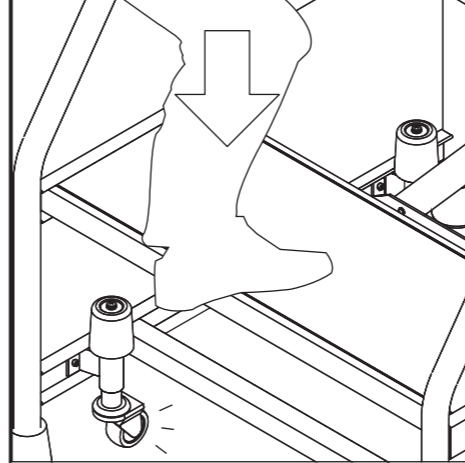
- 屋内では素足、屋外では運動靴など滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の前面を踏台の昇降面に向け、慎重に昇り降りしてください。
- 降りるときは、飛び降りずに1段ずつ踏ざんに足をかけて慎重に降りてください。

- 天板の上で作業するときは、身体が踏台から乗り出さないようにしてください。

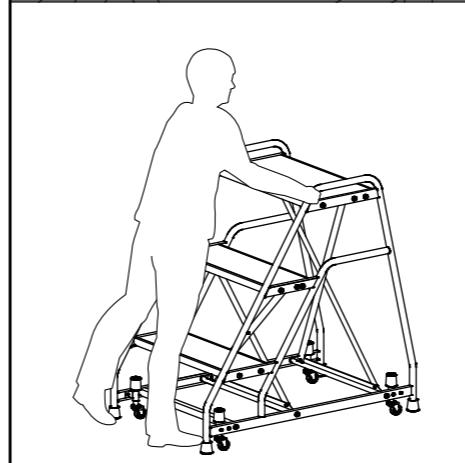
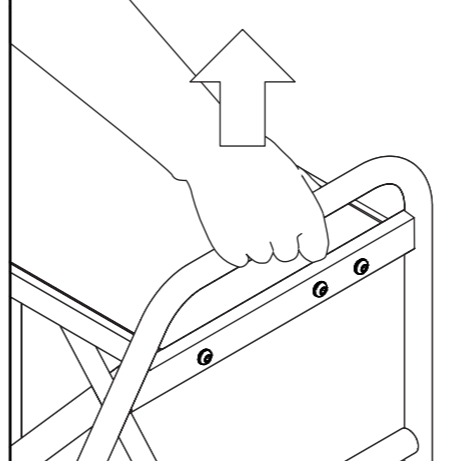
- 天板の上に立つときは、身体が天板の中央にくるようにしてください。

- 本製品は、強力な磁石の力で踏台を浮かせています。踏台を移動させるときは、踏台に荷重をかけないように引いて移動してください。荷重がかかりすぎると、踏台が下がり移動できなくなります。

設置の仕方 ※図 1



解除・移動の仕方 ※図 2



使用後のお手入れと保管の仕方

1. お手入れの仕方

- 踏台にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。
- 汚れは、濡れぞうぎんなどできれいに拭き取ってください。
- 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- 油系の汚れは、クリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

⚠ 注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていると腐食原因になります。

2. 保管の仕方

- 雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。
- 本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠ 注意

- 保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。

故障かな？と思ったら（不調診断）

<現象>使ったときにグラグラする。

点検する箇所	処置の仕方
支柱と踏ざんの接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

<現象>大きくガタガタしている。

点検する箇所	処置の仕方
全体に大きく曲がりやねじれがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱や踏ざんに、曲がりやへこみなどの変形はありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

<現象>踏台がスムーズに移動しない。

点検する箇所	処置の仕方
キャスターの機能がそこなわれるような破損や変形・錆び・あるいは曲がり・ねじれがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
キャスターに泥やセメント・ゴミ・ペンキなどの異物が付着していませんか。	ある場合は、取り除いてください。取り除けない場合は、使わないで廃棄してください。

- 製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具はいちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起り、転倒や転落による人身事故の原因になります。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** お客様相談室 ☎ 0120-509-849

〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 E-mail: techno.center@trusco.co.jp

製造元 株式会社ピカコーポレイション <http://www.orange-book.com/>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

737780001904 (P17.01)